

上尾市水道事業では、大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に特化した「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、大規模災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な災害対応ができる職員を育成しています。

上尾市水道事業実動班総合訓練を実施しました

令和6年8月29日（木）上尾市上下水道部敷地内におきまして、「令和6年度 上尾市水道事業実動班 総合訓練」を実施しました。

本訓練は、各講習で学んだことを基に、緊急時においても、実動班員全員がより迅速かつ的確な行動がとれるよう行う、実践的な訓練です。

本年度は令和5年度より更に実践的な内容とし、午前に机上訓練、午後に実技訓練を実施しました。

訓練内容

机上訓練（午前）

机上訓練は正確に情報を把握し、伝達することだけでなく、得られる情報から解決策を導き出し、対応を行うことを想定した訓練です。

出題者より条件の提示を受けた上で、参加者が自ら考え、対応方法を導き出す形をとりました。これは、より実際の緊急時に近い形を想定した訓練です。

実技訓練（午後）

実技訓練は、机上訓練で想定した被害に対応する形で行う訓練です。

机上訓練の内容を踏まえて実施するものであり、訓練内容は、「給水車による応急給水」そして「木栓による応急漏水修繕」を複合的に実施しました。

机上訓練（午前）

出題者より条件の提示を受けた上で、指揮者より各対応班毎にリーダー及び班員が指名され、対応を行いました。

参加者が自ら考え、対応方法を導き出すため、より実際の緊急時に近い形を想定した訓練です。



1. 対応班毎の検討

別室を現場と想定し、現場では各対応班毎の条件を提示した上で、現場から指揮本部へ携帯電話又はIP電話を用い、正確な情報伝達を行う訓練を行いました。

各班条件を踏まえて対応方法を検討し、状況及び対応方法を指揮者へ報告しました。



2. 検討内容発表

訓練終了後、各班毎に対応方法を発表し、参加者全員で確認を行いました。

実技訓練（午後）

午前の机上訓練で要給水車と想定した班は、指揮者の指示の下、「給水車による応急給水」を実施しました。

トラックへ積載可能な可搬式応急給水タンクによる給水及び、水量が不足した場合を想定した給水車による圧送訓練を行いました。



3.可搬式応急給水タンク積載



4.可搬式応急給水タンクによる応急給水活動



5.給水車への注水



6.給水車から可搬式応急給水タンクへの圧送



7.指揮者への作業完了報告

給水車から可搬式応急給水タンクへの圧送は、圧送先が受水槽等の場合にも有効な方法であります。

実技訓練（午後）

午前の机上訓練で要木栓と想定した班は、指揮者の指示の下、「木栓による応急漏水修繕」を実施しました。

木栓は、緊急時に限られた材料で止水するための非常に有効な方法です。



8.木栓製作



9.漏水（想定）箇所全景



10.木栓打ち込み

本訓練に対する講評の後、閉会しました。



11. 講評（上下水道部次長）



12. 講評（講師）



13. 閉会挨拶（水道施設課長）

緊急時においても、より迅速かつ的確な行動がとれるよう、今後も定期的に訓練を実施します。